

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
20ページに掲載している広報ク
イズの答えと一緒に、気ままなひ
とこと、ちょっと言いたいひとこ
とを、お待ちしております。

読者の伝言板

●この冬の大雪で、昨年の秋
に庭の花壇に植えたチューリ
ップ、ピオラも雪の下でびっ
くりしていることでしょう。
でも、春の日差しも出てきま
したよ。もうすぐだから待っ
ていてね

(春よ来い 47歳・八橋)
●豪雪で長い冬、閉じこもり
がちで運動不足。本当の春が
待ち遠しい。でも、少しずつ
日が長くなって、夜明けもず
いぶん早くなってきました。
あと少しの辛抱で朝の散歩が
できるかも

(春待つ子 73歳・新屋)
●除雪された雪山がうず高い
ですが、太陽の光が差す日も
あって早く雪解けが待たれま
す。「早く来い来い春よ」です
(ゆうわのバアー 73歳・雄
和)

●近所のごみ集積所では、家
庭系ごみの有料化前よりごみ
袋の数が3分の2くらいに減
っているように見える。減量
目標まであと32%。もう一息
で達成できそうなのでいつそ
う減量に努めています
(あきたたふき 65歳・外旭川)

●ごみ減量速報、気をつけて
見えています。(1月現在の実
績で)目標との差がティッシ
ュの空き箱1個分とのこと。
もう少しでクリアできる分量
かな?とみています。わが家
は2人世帯で、家庭ごみを出
すのが3回に1回、30%の袋
1つになりました。ごみが減
ると生ごみの水切り、雑がみ
の分別が楽しくなってきました
(さくら子 69歳・新屋)

●市保健センターで行われて
いる離乳食教室に参加しまし
た。子どもの食はこれから一
生につながると思い勉強させ
ていただき、試食もして家で
も作っています。ごみの減量
もできるだけに、少しでも
減らせるようにしたいです
(なつちゃん 25歳・寺内)

●最近健康に興味があり、
定期的に健康診断を受けなく
てはいけない年代に近づいて
きたと感じています。健康相
談など積極的に参加していき
たいと思います
(まこ 27歳・寺内)
●さりげなくたくましく、災
害に対して体を鍛えましょ

地域の話題 おしえて!!

聖霊幼稚園で環境学習の出前講座を開催

お水って、いろんな形になるんだね

市では、学校や地域で行う環境学習をサポートするため、職員
の派遣事業を行っています。この日は、聖霊幼稚園の年長組を訪
問し、「水」をテーマにした絵本の読み聞かせや、簡単な実験など
を通じて、環境の大切さを学んでもらいました。

じゃ口をひねると出てくる飲み水、空から落ちてくる雨や雪な
ど、姿を変えて身近にある水の存在を、子どもたちは感じとった
様子。担任の原田かおる先生は、「こういった体験は子どもたちに
とっていい刺激になります。自然に親しんで、環境を大事にする
気持ちが芽生えるといいですね」と話してくれました。

*環境学習サポート事業(職員派遣)について、詳しくは環境総務
課へお問い合わせください。☎(863)6862



しゃぼん玉づくりに夢中。
「こんなにおっきいよ!」

「しずく」が冒険するお話にみんな真剣な表情



おしゃべりかわらばん

携帯電話・スマートフォンから
市政への提言・要望を投稿できます



市政に対する提言や要望をEメールで送れる「市民の声」システムに、新たに携帯電話やスマートフォンから投稿できる機能を追加しました。右のQRコードを読み取ってご利用ください。パソコン用ホームページからの投稿は下記アドレスから。



携帯電話用
QRコード

<http://www.city.akita.akita.jp/web/comment.htm>

問い合わせ 広報広聴課 ☎(866)2034



心に迫る写真が圧巻

前から楽しみにしていた企画で、期待通りでした。普通は見られない海外の貴重な情景や、写っている人の思いが一瞬でグッと伝わる写真など、心に残るものばかり。まだ見てないかたも、ぜひ足を運んで感動してほしいです。

加藤美幸さん(桜)…千秋美術館で開催中の写真展「聖地巡礼」を鑑賞

千秋美術館企画展 聖地巡礼

3月24日(日)
まで開催中



ドキュメンタリー写真家の野町和嘉さんが、過酷な土地に生きる人々の祈りの姿を撮影した作品の数々。時間は10:00~18:00、観覧料800円。ぜひご覧ください。千秋美術館 ☎(836)7860



脳の運動で活性化

小学校程度の音読や計算をしました。脳は問題が簡単な方が活発に働くそうです。教室のみんなに会えるのを楽しみに通っているうちに、スラスラ問題が解けるようになりました。効果があって頭の回転が速くなったかな。

榎田浩司さん(高陽)…長寿福祉課の「脳の健康教室」に参加

親子でリフレッシュ

雄和子育て交流ひろばの親子フィットネスに参加しました。雪かきで硬くなった体を音楽に合わせて骨盤体操などでストレッチ。子どもたちもお友だちと一緒に遊んで、親子そろってリフレッシュできました。



斉藤祥子さん、思希(しき)ちゃん(左)、未都(みと)ちゃん(仁井田)



仁井田の蔦で新特産品

地元の食材を生かした6次産業化に取り組んでいます。蔦刈りで有名な仁井田地区のあきた蔦をワインビネガーに漬けてピクルスにしました。シャキシャキした歯ごたえと甘酸っぱい味をお楽しみください。

早川昭さん…秋田県産資源開発研究所代表。商品の問い合わせは、☎(839)0864

う。豪雪から学ぶ(水野鉄也さん 72歳・保戸野)
● 毎回、いろんなイベントを見て、申し込もうかな〜と思うもののなかなか行動できず…。今年は料理教室に行くのが目標です
(ヒロつこ 59歳・寺内)
● 以前、読者の伝言板に結婚したことを載せていただきましたが、4月に会津で式を挙げることになりました。3・11以降両親が避難している地で…福島第一原発がある双葉町が実家です
(斎藤みゆきさん 33歳・寺内)

係から
ひとこと

職員自らテレビ局が使うような肩に担ぐカメラで撮影して地道に映像を編集し、テレビ番組を毎週放送しているのは、全国1千700を超える地方自治体の中でも数えるほど。秋田市役所のテレビ担当は、半世紀以上にわたり「自主制作魂」を脈々と引き継ぎ、今日も番組作りで東奔西走しています。
秋田市のホットな話題を届ける、そんな市政番組にリポーターで出演してみませんか？ 私たち担当一同、ご応募をお待ちしています。詳しくは19ページをご覧ください。



写真右は開発者の根田さん

秋田市地域特産品に認定
あきた蔦ピクルス



「あきた蔦ピクルス」は、早川さんのお店(仁井田蔦見町10-65)、県内道の駅などで販売しています。

市では、市内産の農畜水産物を原料として作られた商品を秋田市地域特産品として認定しています。認定されると特産品マーク(右上)の使用や地産地消の推進イベントなどへ参加できます。

詳しくは、農業農村振興課へ。☎(866)2116